

八王子分収林の林況報告

同窓会八王子分収林を同窓会員に知って頂くために、現況について簡単に報告する。

分収林について同窓会の会報に報告されたのは、農工第3号(昭和41年)で村上崇氏(林・昭26)により、「同窓会記念林は育っている」の中で写真2枚とその概要が報告されている。

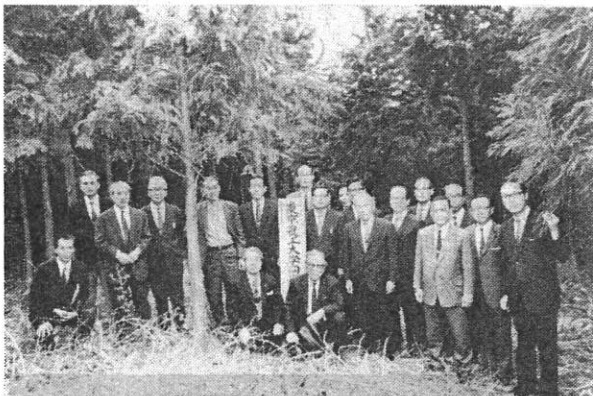
分収林の概要は次の通りである。

- ◇所在地 八王子市裏高尾町1884-1
- ◇面積 7.18ヘクタール
- ◇土地所有者 八王子市
- ◇樹種 スギ(60%)、ヒノキ(40%)
- ◇植栽年度 昭和28年4月 6.98ヘクタール
昭和34年4月 0.20ヘクタール
- ◇植栽本数 約22,000本

- ◇昭和58年4月現在の材積 スギ 1,330m³
ヒノキ 870m³

分収林も下刈の終了後から一時期、放置されたため八王子市当局より、至急手入れを実行するよう申込まれた。同窓会もその経費の支出が心配されたが、現堀会長の御援助により、分収林特別会計が発足して費用のメドが付き、昭和47年12月より翌年2月にかけて、同林の除伐(広葉樹及び植栽木の切捨て)、つる切り、高さ3mまでの枝打を実施した。手入れ前は、立木本数も多く雑木の侵入で、林内の歩行が困難な箇所があったが、手入れ後は、薄暗い林も見違えるような林となり、八王子市当局の関係者を感じさせる美林となった。

これを機会に昭和48年5月、マイクロバスによる見学会を行い、現会長を始めとし20名の参加者に視察し



昭和48年5月の視察



昭和58年8月の視察



同上の位置での現在の林



昭和58年8月の視察

て頂いた。その後、理事長が変わるたびに視察をお願いし、本年8月にも実行した。

森林国営保険にも加入して、不慮の森林火災や自然災害による被害を受けても、保証されることになり、担当者としても大いに心強い次第である。昭和56年には、各地に雪害が起き、その被害も補償の対象となることで、分収林も被害を申告するよう通知を受け、4月に全林にわたり調査を行ったが、被害は幸いにも皆無であった。

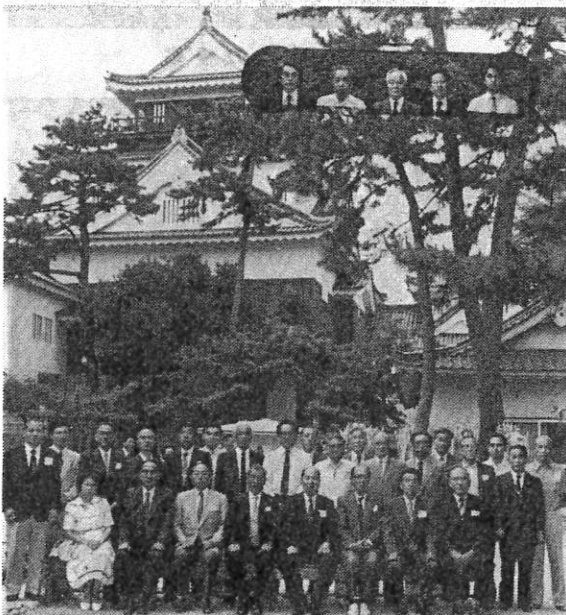
分収林の現在の立木評価は、1㎡当たりの単価をスギ10,000円、ヒノキ18,000円として試算すれば2,896万円である。これを、本年の森林国営保険の保険金額25,916,800円と比べても、決して過大な値ではないと考える。分収林は、ますます生長すると共に、この単価をもっと高く見込むことも可能であり、伐期には今まで投資した経費と先輩達の苦勞が結実して、同窓会の大きな基金となると確信している。

分収林も伐期には、まだ程遠くこれから除伐、つる切り、枝打、間伐等の手入が必要であり、今後とも会員の皆様の御支援をお願いしたい。

(事業部：川口正夫・新井雅夫)

支部だより

●愛知県支部総会の開催●



本支部の第21回通常総会が、去る6月4日「家康ブーム」の本拠地である岡崎市の岡崎公園内岡崎城隣の「巽閣」にて約50名の出席のもとに開催されました。当日の議題は、収支決算報告や役員改選のほか、「支部組織強化」のため、会員の同窓会に関する意向調査を昨年10月に県支部会員250名を対象に往復ハガキによるアンケート調査を実施し、その結果概要の報告を行った。

その内容は、支部強化の要となる「支部総会のあり方」について、「全員参加方式」「本部総会終了後の土曜日の午後」「名古屋市内」「新人歓迎会」「時局講演」の回答が大多数を占めた。昨今、全般的に低調といわれる大学の同窓会の支部組織を、もっともっと盛り上げるには、支部組織への関心度を高め、積極的行動（総会への出席・同窓生の公私にわたる横のつながり）が必要であるとの意見で集約された。

総会に引き続き懇親会を開催し、同窓会本部からは御多忙のなかを工学部の北村愛夫教授に御出席願ひ、母校の近況報告のあと、懐かしき大学時代に唱った「あの歌」「この歌」の合唱。さらに全国的ブームの家康公の心意気を話題にしながら昔日の思い出にひたり散会をした。

(役員改選結果)

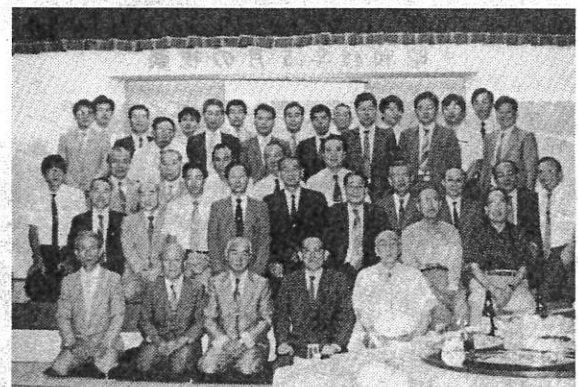
支部長	金井	芳朗	(農 11)
副支部長	刈谷	永一	(蚕 7)
	野村	晃義	(農 10)
	石川	孝司	(織化23)

(愛知県支部事務局 水野記)

●熊本県支部総会・盛大に開催●

同窓会熊本県支部総会は、新緑滴る好季節の去る6月18日午後2時より、熊本市五峯閣において、43名が出席、盛大に開催された。

川越支部長(林12)の挨拶に始まり、議案はきわめて和やかの中に原案どおり万場一致で可決された。また本年度は役員改選期に当たったので、新支部長とし



て、長野健彰さん(製糸18.9)を万場一致で推薦決定した。

今回の総会においては、去る5月下旬の本部同窓会総会に出席した川越支部長から、母校のニュースの説明があり、会員一同、母校の推移について、なつかしきをかみしめながら聞いた。

本年は、新会員が5名もおり、会場に新しい空気が感じられた。一方会員の物故者に対しては、全員一分間の黙禱を捧げた。これに続いて懇親会に入った。先ず渡辺さんの音頭より乾杯を交わし、カラオケを使つての美声が発せられ、またアトラクションとして、石島さんより印度・東南アジアにおける蚕糸を主体とした風俗のカラー写真が30分にわたり紹介された。

終りに松石さんの音頭により万歳三唱、夕闇せまる熊本市を後にした。(大石清隆記)